

2026年度ジュニア育成地域推進事業 ジュニア大会要綱

目的

東京都におけるジュニアスポーツの普及と地域のジュニア選手の発掘・強化を目的とし、指導者の養成研修や地域スポーツネットワーク構築を目指した事業です。

- 1, 主催：東京都、(公財)東京都スポーツ協会、(一財)稲城市スポーツ協会
- 2, 主管：稲城市サッカー連盟
- 3, 開催日：2026年5月10日～2025年7月5日
- 4, 開場：稲城市南多摩スポーツ広場多目的グラウンド他
- 5, 参加資格
2026年度 稲城市サッカー連盟加盟の3年生以下のチーム
- 6, 参加費 参加費は徴収しない
- 7, 競技会規則
特に記載しない限り、日本サッカー協会 2025/2026年度『サッカー競技規則』および、『JFA 8人制サッカー競技規則』最新版に準ずる。
警告の累積は当日のみで2枚で退場とする。退場者は次の試合1試合のみを出場停止とする。
- 8, 試合時間 各カテゴリー別に時間を設定して大会を開催する
幼児： 8分ハーフ (インターバル3分) 6人制
1年生：10分ハーフ (インターバル3分) 6人制
2年生：12分ハーフ (インターバル5分) 8人制
3年生：15分ハーフ (インターバル5分) 8人制
- 9, 試合
 - (1) 1年以下に関しては基本6人制とするが、当日5人しか参加出来ないチームが出た場合は5人制で行う。但し4人制では行わない。
 - (2) 2・3年大会は常に8人制で行う。
 - (3) 試合開始時に1年生以下は5人、2・3年は7人が出場している状態であること。試合中に1年以下は4人以下、2・3年は6人以下になったら試合不成立とし、人数が足りないチームの不戦敗(リーグ戦では0対3か、その時点での得点差の多い方を採用)とする。
 - (4) 別紙組合せ表に基づき、リーグ戦とトーナメント戦で優勝・準優勝・第3位を決定する。
 - (5) リーグ戦の順位については、以下にて決定する。
勝ち点の扱い 勝：3、 引分：1、 負：0 不戦敗：-1
順位の優先順位：①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トストーナメントにおいて同点の場合は3名ずつのPK戦により決定する。以降サドンデス。

1 0、グラウンドのサイズ

別途定める「学年ごとグラウンドサイズ」による。

1 1、会場運営

(1)会場運営のチームは学年ごとの組み合わせ表に記載のチームが担当する。

(2)各チーム選手・父兄の集合については第一試合開始1時間前以降とする。

当日試合のあるチームの指導者については第一試合開始1時間半前に集合し、全チームの協力によりグラウンドの準備を行う。

ただし、組合せ表で午前・午後と試合が分かれている場合は、午前に試合のあるチームが開始90分前から準備を行い、午後試合のチームは最後まで残り後片づけを行う。

(3)会場運営チームの役割

運営担当は各日2チームで運営に当たるので、チーム間で相談して役割分担可能。

但し、割当て時間をAM・PMなどに分担した場合は、それぞれ2名ずつ配置する。

運營業務を理解している者を配置する事。基本チーム1名だが指導の為の補助人員を+1名配置しても良いが、3名以上は認めない。本部席からの応援は不可とする。

① 当日の試合進行表をA3に拡大し掲示する。

② 審判・本部要員用に飲料水を用意する。(紙コップ、ゴミ袋、ガムテープ)

③ WBGT計(高気温時)、空気入れ、空気圧計、筆記具、メジャー2本ずつ持参。

④ 試合進行表に試合結果・審判チームを記載し、大会担当と少年部に報告する。

⑤ 試合終了後、全チームの退出後グラウンド状況を確認し施錠する(または依頼する)。

⑥ 南多摩Gの石灰の残数が3袋以下の場合は少年部に連絡する。

1 2、出場チームの構成

複数チームエントリーは、8人制の場合当該学年が16名以上いれば2チーム、24名以上いる場合は3チームエントリー可能(6人制は12名以上・18名以上)を登録条件とする。

団体内の構成として、複数チームエントリーする場合のシード順はA⇒B⇒Cと表現し、Aチームは当該学年のみで構成する。Bチーム以下は当該学年のみで編成する必要はない。但し、大会本部よりチーム数調整の為、複数エントリーを依頼された場合もAは同様。

上記登録条件について、幼児は全て同学年(年中、年長別の大会は無し)という扱いにする。

1 3、ベンチ入り

選手の人数制限は設けない。スタッフは2名以上5名以内とする。応援の保護者とは明確に分離(試合会場と管理区域)する。

1 4、交代

FPは「自由な交代」GKはアウトオブプレー時に正規手続きでの交代とする。

(退場するGKが一番近いタッチラインかゴールラインより退場、入場は交代ゾーンから)頭部打撲など脳震盪が疑われる状態で退いた競技者は、当日それ以降の試合には出場不可。

15, ボール

ボールは4号縫いボールとし、幼児・1年生・2年生は「0.6kg/cm²」とし、3年生は「0.8kg/cm²」に調整したものを当該チームが持ち寄る。(検定球に限る)

16, ユニフォーム

ビブスは原則不可だが、幼児・1年の複数エントリーで、他の色が無い場合は容認する。

FP・GKともに正副(原則としてシャツ・ショーツ・ソックスとも)を用意し、それぞれが容易に識別できるものであること。色については黒のパンツ・ソックスを認める。

アンダーシャツ・アンダーショーツ(タイツ)の色は問わないが、チーム内では同色の物を着用する。GKはFPとは異色で良いが、正副GKは統一する。

ソックスを止めるためのテープ等の色はソックスと同じ色でなくても良い。またチーム内での統一も不要。

GKは最初からFPと同じショーツやソックスを着用してもよい。戦略的交代では背番号は変更不可(無しも不可)で、他と色が被る場合は交代できない。予期せぬ事態での交代の場合は背番号無しや、退くGKのシャツを着回すのも可とする。

17, 審判

審判員育成の為、資格取得予定者の審判も認めるが正規な審判服の着用は必須とし、試合の都度、サッカー連盟審判部員の助言を参考とし審判技術を高める事を目的とする。

主審と補助審判の2人制審判で行い、主・補はハーフタイムで交代しても良い。

3年生大会では審判報告書を記載し、審判部員の確認(場合によっては指導)を受ける。

18, その他

疑義が生じた場合は本部に提起し、役員・審判部の助言を基に出場チーム間で確認を行う。

19, 幼児の部及び1年生の部の特別ルール

1, 最低6チームのエントリーで大会を開催する。

2, フェールスローは、1度目は指導して再度行わせる。

3, オフサイド・バックパスは採用しないが、明らかな待ち伏せは反則とする。主審判断

4, フリーキック時、相手選手は5m以上離れる。

20, 感染症対策等が行政より発令されたら即時に従うが、熱中症など生命の危険度が高い方を優先として対応する。

以上